

三和油化工業

ブライン製販に参入

大塚化学の
事業継承

主原料再生も展開

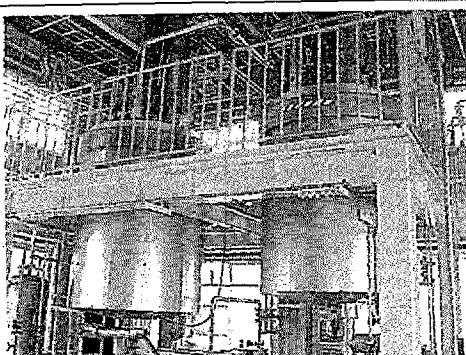
三和油化工業(愛知県刈谷市、柳忍社長)は、ブライン(冷熱機)の製造販売に乗り出す。大塚化学のブライン(商品名・シャダンB瓦、BP)事業を継承するもので、4月からビルや工場向けの本格供給に乗り出す。また、同社が得意とする廃液のリサイクル、リユ

ース技術を生かし、ブラインの主原料となるエチレンクリコール、プロピレンクリコールの再生にレンゲリコールの再生にも取り組む。供給から回収、再生化の循環体制を築くことでブライン事業の拡大を図る。

大塚化学は十数年前から、化学工場や食品工場などの産業用をはじめ、

ビルやショッピングモールなどの空調用にブラインを年間300~450トンの供給実績を積み上げてきた。しかし、事業の拡大が見込めないことが、三和油化工業は従来から委託を受け、ブラインの回収を手掛けってきた経験をもつ。今回の事業継承とともに、ブライン

石根工場内に設置したブラインの製造および充填設備



るリサイクル、リユース技術を生かしながら売り上げベースで卓抜的なビジネス構築を目指す。また、5月に本格的な生産活動に入る予定の大塚化学がヒドラン事業で培った防腐防錆剤の供給を行い、三和油化工業がブラインの製造販売

の製造および充填設備を石根工場(愛知県刈谷市)整えた。同社が得意とするリサイクル、リユース技術を生かしながら売り上げベースで卓抜的な生産活動に入る予定の大塚化学がヒドラン事業で培った防腐防錆剤の供給を行い、三和油化工業がブラインの製造販売